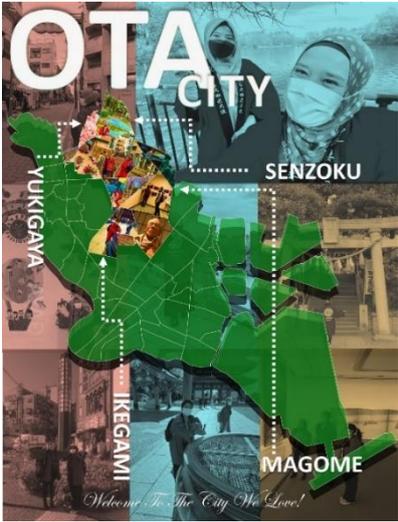


「国際都市おおた」推進の取組について

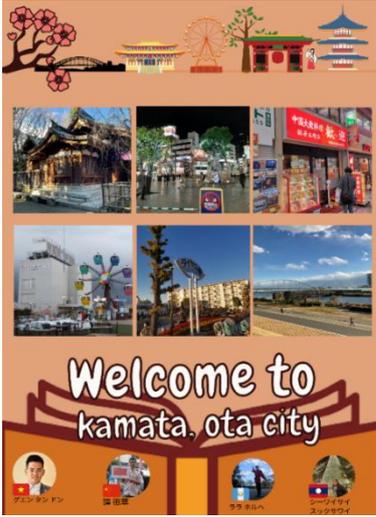
1 国際都市おおた大使の交流会と区の魅力発信について

新型コロナウイルスにより、国際都市おおた大使の交流の場が少ない中、大使同士のつながりを作り大使自ら区の魅力を効果的に発信するため、令和3年11月下旬に「国際都市おおた大使交流会」をオンラインで開催した。

- (1) 目的 全32名の大使を5つの班に分けるとともに、大田区を5つの地区に分け、地域の魅力を発信するポスターと動画を作成
- (2) 今後の予定 ポスターは、18色の国際都市事業で連携している各特別出張所と令和4年4月11日にオープンするおおた国際交流センターで掲示し、動画はYouTubeに3月中旬公開予定



馬込地区を担当した班のポスター



蒲田地区を担当した班のポスター



調布地区を担当した班のポスター

2 大田区×セーラム市 姉妹都市30周年記念品の贈呈について

令和4年2月1日、セーラム市役所にて、オオタ・セーラム・カルチュラル・エクスチェンジの会員経由で区からの姉妹都市30周年記念絵画を贈呈した。セーラム市長からは「豪華な絵画で大変驚いた。素敵な記念品をありがとうございました。」との声をいただいた。絵画は、市長室の前に飾られる予定。



(写真中央) キンバリー・ドリスコール市長、ピーター・ドーラン氏

3 国際都市おおた協会事業

「外国籍保護者のための小学校入学前オリエンテーション」(実施報告)

令和4年1月29日(土)、消費者生活センター大集会室において「外国籍保護者のための小学校入学前オリエンテーション」を開催した。

当日は協会が作成した「外国籍保護者のための小学校案内(6言語)」を用いて小学校の1日の様子を説明するとともに、先輩保護者から体験談を話してもらった。さらに、先輩保護者がファシリテーターとなって参加者全員による座談会を行った。

参加者からは、「子どもがどのように学校で過ごすのかイメージが湧いた」、「先輩方の体験談がとても役に立った」など、満足したとの感想をいただいた。

- ★参加者数 4月に小学校に入学する子どもがいる保護者 10組・11名
(フィリピン3名、ベトナム3名、アメリカ2名
台湾、タジキスタン、ガボン各1名)
そのほか、外国籍先輩保護者2名、日本人先輩保護者2名、
通訳ボランティア4名(国際交流ボランティア登録者)



外国籍保護者のための小学校入学前オリエンテーション当日の様子